

# 令和4年度全国学力学習状況調査の結果分析等について

学校名

秦野市立西小学校

## 1 調査結果の分析と考察

本校の特徴	本校の課題
(1) 国語の「話すこと・聞くこと」では、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができます。また理科の生命を柱とする領域では、問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの筋道を構想し、自分の考えを持つことができます。	(1) 国語の書くことでは、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることに課題が見られます。また学年別漢字配当表に示されている漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られます。
(2) 国語、理科では記述式の解答が苦手な子も見られますが、短答式、選択式は無解答率が全国平均より低い結果となっています。算数ではどの設問でも無回答率が低く、特に書く問題では解答を導き出そうと前向きに取り組んだ児童が多いことが分かります。	(2) 算数の変化と関係では、数量は変わっても割合は変わらないという理解に課題が見られます。また数と計算では、示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題が見られます。
(3) 質問紙より国語、算数、理科ともに授業の内容はよくわかり、将来社会に出た時に役立つと考えている児童が多いことが分かります。また将来の夢や目標を持ち、自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている児童が多いことが分かります。	(3) 質問紙より、放課後や週末に家でテレビや動画をみたり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている児童の割合は高いです。またICT機器を勉強のために使っている児童の割合が低いことに課題が見られます。

## 2 昨年度の取組の分析と考察

(1) 昨年度は「自己の生き方についての考えを深める子どもの育成」をテーマに校内研究で道徳に取り組んだり、年間4回の振り返りアンケートや児童との個別の面談をする場を設けたりすることで児童の気持ちに寄り添う場を多く設けました。その結果、質問紙から、いじめはどんな理由があってもいけないと感じている児童の割合が高くなったことが分かります。今後も一人一人の児童と向き合う場を大切にしていきたいと考えます。
(2) 一人一冊自主学習ノートを準備し、自分で課題を設定して学習に取り組めるようにしています。しかし質問紙から、学校の授業時間以外に、平日休日ともに1時間以上勉強をする児童の割合が、全国平均より大きく下回っていることが分かります。興味関心や見通しを持って学習に取り組むことができるような課題設定とともに、一人一人に合った励ましの言葉がけを、引き続きしていくことが大切だと考えます。
(3) 学習用タブレット端末が一人一台配備され、昨年度から本格的に授業の中でも調べ学習や意見の共有等で活用しています。また週2回、朝の時間に設定しているタブレットタイムでは、学習アプリを使った基礎の定着やキーボードの練習をしています。今後は更に、自分の考えをまとめ、発表する場面でICT機器を効果的に利用できるよう、支援や場の設定をしていきたいと考えます。

## 3 教育水準の改善向上に向けた次年度の取組の方向性について

(1) 高学年では一部教科担任制を取り入れています。一人一人の自己肯定感を高め、学習意欲の向上につなげるためにもより多くの教員が児童にかかわることで、よいところを大いに誉め認め、伸ばしていきたいと考えます。また児童理解のために職員間で情報共有をし、個に合った支援に努めていきます。
(2) 学校では朝読書の時間や読み聞かせ、また図書委員会による読書週間の設定等、本に親しめるような機会を設けていますが、授業時間以外に読書をしない児童がいます。読書に親しむ場や環境の整備に努め、進んで読書に向かう姿が見られるよう引き続き読書の楽しさを伝えていきます。
(3) 本年度より総合的な学習の時間の実践を通して、「主体的・協働的に学び、自己の生き方を考える子どもの育成」を校内研究のテーマとしています。これから課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組めるような姿が表れるように、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを作り出す機会を設けていきます。

## 4 家庭・地域の方へのメッセージ

質問紙から「学校に行ったり友達と協力したりすることは楽しい。」という児童の割合が多いことが分かりうれしく思います。また毎日同じ時間に起きている児童の割合が多いことから、気持ちよく送り出していることが伺えます。ICT機器については、使うときの約束を家の人ときちんと決めたり学校で情報モラルの学習をする場を設けたりするなど、ご家庭と連携しながら効果的な活用に努めていきたいと思えます。分からないことがあったらそのままにせず友達、先生、家族に聞く、自分で調べるといった児童が多くいることが分かりました。今後も児童との信頼関係づくりにより一層努めていきたいと思えます。地域の行事に参加している児童の割合が多く、日頃から地域の皆様に温かく見守っていただいていることに感謝します。今後もご家庭、地域との連携を大切にしていきたいと思えます。
---